

現職教育

1 目標

教師一人一人が課題意識をもち、自発的・自主的に研修に取り組むとともに、学び方やものの考え方を身に付け、自己の生き方を考えることができる児童の育成を目指す。また、児童一人一人に「生きる力」を育むために、研修を通して教師としての資質の向上に努める。

2 努力点

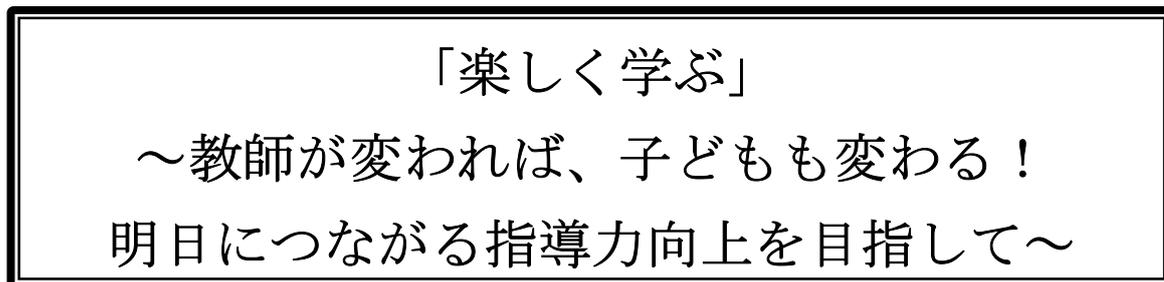
- 児童の生きる力を育む、教師の授業力を向上させるための研究を推進する。
- 児童の発達段階および地域の実情に即し、各教科・領域等の特質に応じた、人間尊重の教育の充実に努める。
- 校内外の研究会、講習会、講演会へ積極的に参加し、教師としての資質を高める。

3 主な現職教育

- 主題研究
- 特別支援教育研修
- 人権教育研修
- 各教科等の指導に必要な学習指導技術に関する研修
- 生徒指導研修
- 校内外の研究会への参加、伝達講習
- 性に関する指導研修
- 小中連携に関する研修

【主題研究】

(1) 研究主題



(2) 主題設定の理由

近年、めまぐるしく変化する社会の中で、次世代を担う子ども達には、その変化に対応する能力や資質が一層求められてきている。一方で、人間関係をうまく築くことができない、自分で意思決定ができない、協調性や耐性に欠ける等の若者の増加が社会問題になっている現状がある。自分の思いや願いを積極的に表し、自己肯定感を高めていくことは、子ども達自身が、未来を切り拓く気概をもち、自己実現を果たしていくために必要な力であると考えます。

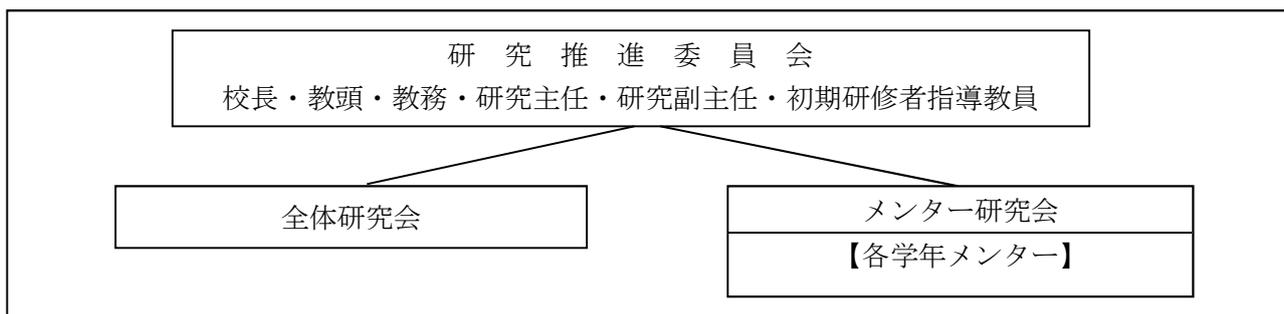
本校は、素直で活発な児童や学習に意欲的に取り組む児童が多くいるという実態がある。一方で、学力差があることや人間関係の希薄化が課題としてある。まず、学力向上を目指していくためには、落ち着いた学習環境の確立が必要である。そして、その環境を作っていくためには、児童同士の温かな人間関係づくりが不可欠である。

そこで、本校では、本年度の研究主題を「楽しく学ぶ」、副題を「教師が変われば、子どもも変わる！明日につながる指導力向上を目指して」とし、児童同士の人間関係の構築のために、各授業・学級経営・道徳科について、全職員で研修していくこととする。教師のニーズに応じたテーマに沿って、互いに学び合える場としたい。また、学年メンターチームを構成し、初期研修者の研究授業をサポートする体制をとることとする。このことにより、初期研修者だけでなく、若手からベテラン教員まで相互に高め合うことができ、授業改善につながると思う。

このような研究を行うことは、本校の教育目標である「豊かな心をもち、自ら学び、最後まで

「でやりぬく子どもの育成」の具現化につながると考え、本主題を設定した。

(3) 研究組織図



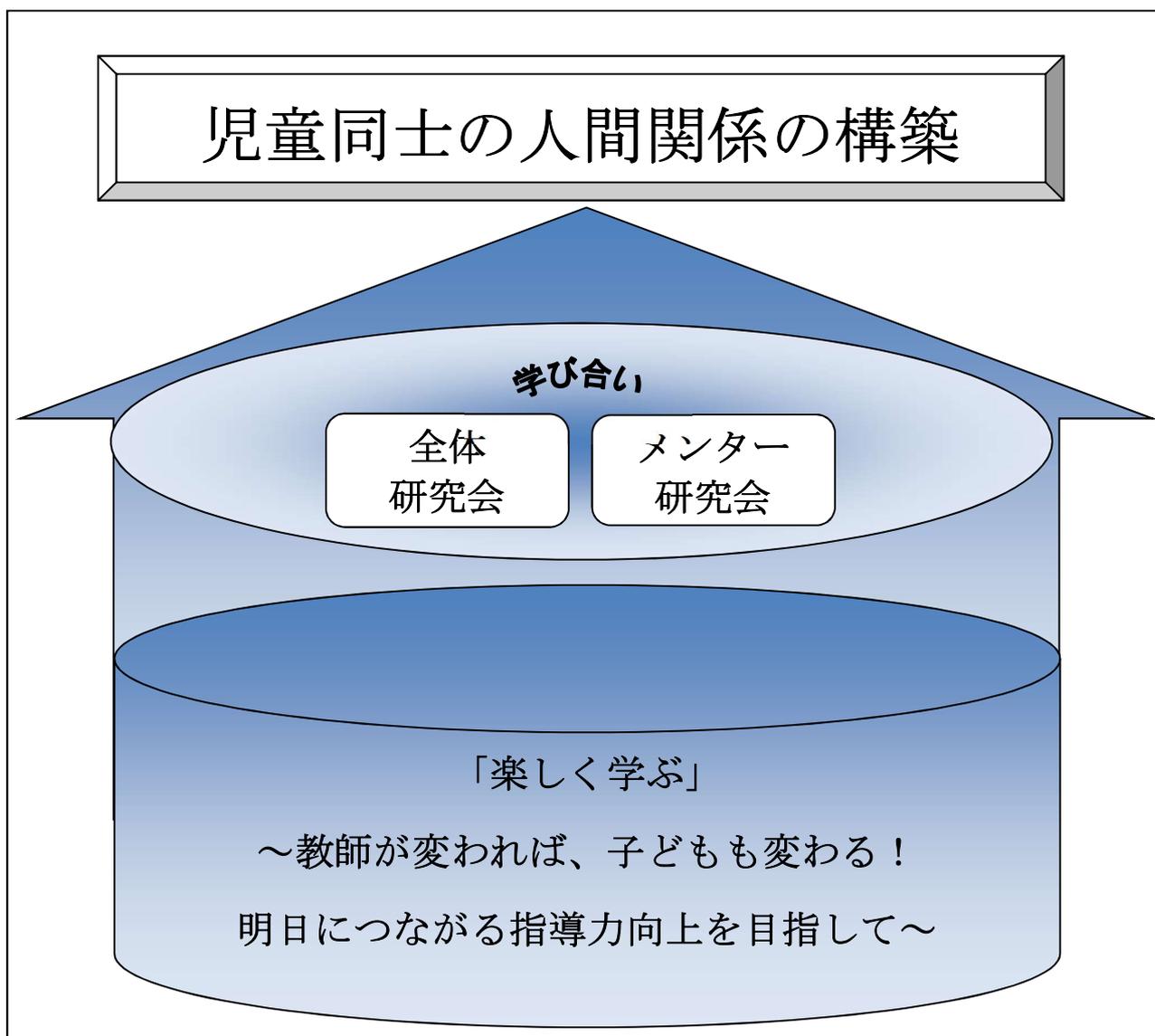
※ 全体研究会

- ・ e-café（ニーズに応じた研修）
- ・ 授業・学級経営・道徳科を中心とした研修

※ メンター研究会

- ・ 授業の課題とそれを改善する手立ての検討
- ・ 初期研修者の研究授業の事前研・事後研

(4) 研究イメージ図



(5) 研修計画

回数	月	日	研修内容
①	4	3	○ 本校の実態について共通理解
②	4	8	○ 研究の方向性について・道徳についての共通理解
③	4	2 4	○ 学年メンターの見通し (メ) ○ e-café「温かい人間関係を育てる学級経営」
④ ⑤	5	2 9	○ 研究授業 事前研究① (メ) ○ 道徳の重点指導項目に関わる単元の見通し・教材研究
⑥	6	1 0	○ e-café「初任者の先生のお悩み相談会」
⑦	6	1 7	○ 研究授業 事後研究① (メ)
⑧	6	2 4	○ 各メンターでの成果と課題について共有
⑨	夏季休業		○ 道徳の授業についての報告会
⑩	夏季休業		○ 1学期を振り返って・今後の方向性について
⑪	夏季休業		○ 全体研
⑫	夏季休業		○ 全体研
⑬	9	2	○ 全体研
⑭ ⑮	9	3 0	○ 研究授業 事前研究② (道徳) (メ) ○ e-café「特別支援」
⑯	1 0	7	○ 全体研
⑰ ⑱	1 0	1 4	○ 研究授業 事後研究② (道徳) (メ) ○ 全体研
⑲	1 0	2 1	○ 「県小・中学校教育研究会道徳部会延岡大会」の公開授業に向けて
⑳	1 0	2 8	○ 学校訪問準備
㉑	1 1	6	○ 学校訪問準備
㉒	1 1	2 5	○ 全体研
㉓	冬季休業		○ 研究授業 事前研究③ (メ)
㉔ ㉕	1	1 3	○ 全体研 ○ 全体研
㉖	1	2 7	○ 研究授業 事後研究③ (メ)
㉗ ㉘	2	1 7	○ 全体研 ○ 本年度の研究のまとめ

